大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可
昭和十一年九月十六日
新京日日新聞
（水曜日）
第四千八百九十號 （一）

新京日日新聞
夕刊
九月十五日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話〔編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇〕
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

日滿不可分關係をけふ更に深く銘記す
承認四周年を迎へた滿洲國

けふは日本が四年前滿洲國の獨立を承認した歴史的記念日だ、コバルト色の秋の空は高く澄み渡り此擧國的記念日を祝する

國都新京は各戸に日滿國旗を掲揚し卅萬市民は牢固たる日滿不可分關係を更に深く銘記した、此日滿洲國政府では各機關を半休とし特に總務廳では午前十時より國務院會議室に於て張總理以下全廳員列席して記念式典を擧行し、各部に於ても餉に冷酒を汲んで日滿兩國の萬歳を祝つた、特に宮中では正午、陛下は勤民樓に出御遊ばされ植田全權大使を始め板垣參謀長以下各上長官、守屋參事官武部關東局總長等、滿洲國側では張總理以下大臣次長、大達廳長等を召されて賜餐を賜つた

日支國交調整の成否を賭けて！
愈よ今日川越、張兩氏會見
支那の出方が問題

【南京十五日發國通】親日か抗日か、日支兩國を覆ふ暗雲一掃の外交戰は愈よ

火蓋を切られるに至つた、川越大使は十五日午前佐藤海軍、喜多陸軍兩武官始め須磨南京總領事、南京駐在陸海軍武官を招致協議を重ねた結果、十五日午後四時から外交部長張群氏と第一次の會見をなし、正式交渉に入る事に決定した、當日の會見に於て川越大使は、成都、北海兩事件の根本的解決は勿論、各省内に於る同樣不祥事件防止の見地から國交調整に關する帝國政府の確乎たる方策を率直に披瀝し、同時に抗日絶滅に關し嚴重に支那側の實行を要求する筈である、即ち日本としては各種懸案の解決による國交調整が取りも直さず排日根絶の實效を納め得る唯一の根本策である

となし、斷乎中國側の誠意表示を迫るものと解されて居るこの重大交渉は連日引續いて行はれる豫定であるが目下紛糾しつゝある北海事件に關し中國側が日本の正當なる調査にも責任を回避する場合に於ては川越大使は交渉繼續の無意義なるを指摘、痛烈な通告を叩きつけ一切の交渉を打切り直ちに

上海に引揚げるべく強硬決意を藏して居る模樣で日支交渉を目前に控へてこの成行は頗る重視されて居る

自衛權發動の場合
わが公正態度を中外に闡明

【東京國通】第三艦隊所屬の第十三驅逐隊は北海事件の現地調査員戸根木書記生一行を掩護し北海の

沖合に待機中だが我が調査員一行の上陸を阻止妨害してゐる蔡廷楷氏の十九路軍の仕末に就ては飽くまで國民政府の手によつて解決せしむる方針で、これが急速なる實現のためには南京に於る我が川越大使と張群外交部長との外交々渉に期待してゐる、即ち帝國政府としては支那の内爭の渦中に入る事を極度に警戒すると共に支那側の手に依つて一日も早く十九路軍の撤退を行はしめ且つ安全ならしむるやう嚴重要求する方針であるが、若し國民政府當局が帝國政府の要求に對し責任を回避し荏苒日を過ごすか或は十九路軍の播

撤退せざれば斷乎實力を行使
海軍首腦部一致の態度

【東京國通】十四日の北海事件に關する海軍首腦部會議に於ては斷乎既定方針遂行に意見一致したが、具體策につき種々重要協議を遂げる處あつた、即ち海軍としては北海事件の眞相を現地につき詳細調査し、飽くところなき惡虐無道の排日行爲につき國民政府に重大反省を促し日支親善を馴致し東亞の和平を確立せんとする以外全く他意無い所である、仍つて十九路軍が飽迄も我が調査員の上陸を拒否し又は我が調査を妨害するに於ては斷乎たる處置により正當なる我が調査團の使命を達成せしめる既定方針遂行は絶對不變であるが、日支親善招來が窮極の目的たる以上は出來るだけ手を盡して愼重なる態度を以て臨むべきだ、之が爲には外務當局を督勵鞭撻し國民政府に對し

一、國民政府は自らの責任に於て十九路軍を北海地方より撤退せしめ、北海の治安維持に當り我が調査團一行の調査を妨害せしめざること

一、十九路軍が國民政府の方針に聽從せず、飽迄も排日行動に出づる時は帝國海軍は斷乎實力を行使する

一、この場合に生じた累災の責任は國民政府が當然受くべきであるとの帝國政府の方針を通達し嚴重その實行を監視する

に意見一致を見、之がために外務、陸軍兩省と緊密な連絡を保ち萬遺憾無きを期することになつた

藻を斷行する實力なき場合は我方としても國家の威信にかけ實力を以て現場調査を決行する方針である、而して斯かる場合に對する爲め帝國海軍は我が自由なる行動を妨害するものは十九路軍とその何たるを顧慮せず自衛權を發動して所信を斷行する一切の準備を整へてゐるが、これと共に自衛權を

發動するの已むなきに至つた經緯と帝國政府の公正妥當な態度を中外に闡明する模樣である

十九路軍の取締を嚴重要求
十四日須磨總領事に訓電

【東京國通】國民政府は十九路軍が中央の統制外にあることを理由にして不誠意な態度に終始し、我が調査員の上陸を拒否するに至つたので有田外相は十四日須磨南京總領事に訓電を發し十九路軍の取締りに關し重ねて國民政府に要求を提出せしめる事となつた國民政府當局は過般須磨總領事の申入れに對し日本側の調査員の北海上陸並に職務遂行に關し廣東政府當局に嚴重訓令する旨言明してゐるに拘らず、その後の實情に徴すれば全くその實行を期し得ざる狀態に立至つたので重ねて國民政府の反省を促す事となつたものである、而して右に關する我が方針は大要左の如く飽迄國民政府の責任の下に我が調査を完了せしめる事を要求する事となつてゐる

一、我が方は曩ねて廣東政府當局並に國民政府代表たる刀作謙兩廣外交特派員との間の協定により帝國軍艦は北海の港外に碇泊せしめ調査員は支那側の艦船により上陸、支那側の保護の下に調査を遂行すべき旨を申入れ極めて公正なる態度に出でてゐるに拘らず國民政府は十九路軍の紛糾を理由にして調査を拒絶するが如き不誠意な態度に出てゐるのは默許出來ぬ

一、十九路軍の蟠居は全く支那の内政問題であるから國民政府自身が軍事的に或は政治的に之を解決すべき事を嚴重要求するものである

一、國民政府の不誠意により我が調査に支障を來す場合には我が方は實力行使の已むなきに至るべく、この責任は一に國民政府にあるものである

松岡滿鐵總裁軍司令官訪問
北滿視察の結果を報告

來京中の松岡滿鐵總裁は本日午前九時半軍司令部を訪問同十時植田軍司令官と會見約一時間に亘り今次の北滿視察の結果を中心に種々懇談を遂げたが總裁は會見後記者に左の如く語つた

今日は北滿視察の結果を軍司令官に報告した後、北滿開發問題を中心に種々懇談した譯である、今度の視察は白城子からハロンアルシヤンを經て同方面の工事を見た後チチハルから北滿の寶庫と言はれる北安方面を視察し綏化、綏稜を見て歸つたのであるが、綏稜の移民の如きは全く自分でも意想外に思つた位の成功である、只牧畜の方は未だ上手ではない樣に思つた、日本人はどうも牧畜には慣れては居ない樣だ、自分は今次の視察の結果平素の信念である北滿開發に充分の自信を得た、具體的な計畫はこれからだが急がず着實にやつて行き度いと思つて居る

尚總裁は十五日のアジアで新京發途中奉天に寄り、十六日歸連の豫定である

濟方面を見て來る豫定だ、財界方面には滿洲の經濟開發は急には出來ないと云ふやうな意見もある、事實さうかも知れぬが僕の考へるところでは日滿兩國の現狀より見て是非一日も早く開發せねばならぬ、多少の無理をしても斷行せねばならぬと思ふ、そしてこれによつて日滿兩國の國政生活安定や國防資源の充足等を圖るべきだと信ずる、これなどは電力問題等と比較にならぬ大きな國策だと思ふ一例を擧げれば、我國は鐵丈けでも年々二億圓宛輸入してゐるさうだが滿洲の鐵資源を開發すれば容易に自給自足が出來ると思ふ、又滿洲に於るアルミニウム資源は無盡藏だからアルミニウムの輸入國から逆に輸出國とするためには内地産業に及ぼす影響如何のみを基調として顧ずるといふやうな建前を先づ改めて行かねばなるまい、庶政一新を眞に斷行するならば、多少の犧牲的影響は自他共に忍ぶだけの決心が無くてはならぬではないか、今度の旅行は滿洲だけに止め、支那へは行かない

撫順に地方事務所新設

【大連國通】撫順の地方行政は炭鑛庶務課で管掌して居たが、今回庶務課より地方行政に屬するものを切離し、地方事務所を新設してこれに任ぜしめることゝなり所長以下人事を左の如く發表した

總務部參事 篠原吉丸
撫順地方事務所長を命ず
經濟調査會調査員 事務員 慶德敏夫
撫順地方事務所庶務係長を命ず
撫順炭鑛總務課地方係主任 事務員 濱田起世次
撫順地方事務所地方係長を命ず

鐵路局異動發表

【奉天國通】鐵路局新職制並に人事異動は滿鐵職制改正、鐵路總局人事異動に先立ち十四日總局より發表された今回の鐵路局關係人事異動は新鐵道機構下に於ける現場監督機關の陣容整備を主眼としたもので鐵路總局人事異動の前提を爲すものとして注目される

▲牡丹江鐵路局
北鮮鐵道管理局長 齋藤固
牡丹江鐵路局長を命ず
ハルビン鐵路局總務處長 尾立長三
同鐵路局副局長を命ず
總局人事課長 折田有信
同總務處長を命ず
吉鐵經理處長 渡邊正太郎
同經理處長を命ず
哈鐵監理處長 向野元生
同運輸處長を命ず
總局運轉課長 榊原正一
同機務處長を命ず
吉林鐵路局 松尾正二
同工務處長を命ず
ハルビン鐵路局 石岡武
同産業處長を命ず
總局警務處 國山光藏
同警務處長を命ず
チチハル鐵路局 陳章
同産業處副處長を命ず
總局監察附 柴田賢次郎
同文書科長を命ず
總務部審査員 原廣
同福祉課長を命ず
チチハル鐵路局 鈴木三郎
同資料科長を命ず
總務部調査課係主任 坂田謙二
同人事科長を命ず
總局會計課 風間初太郎
同主計科長を命ず
羅津建設事務所 長尾贇
同會計科長を命ず
總局會計課 相澤欽哉
同審査科長を命ず
吉林鐵路局 恒吉實男
同調度科長を命ず
錦縣鐵路管理處 李健
同旅客科長を命ず
鐵道部 野田勘次
同貨物課長を命ず
吉林鐵路局 牛島
同自動車科長を命ず
哈爾濱鐵路局 戸田政人
同配車科長を命ず
新京鐵道出張所 前田勘治
同運轉科長を命ず
チチハル鐵路監理處 謝富德
同車輛科長を命ず
吉林鐵路局 長尾光之助
同副科長を命ず
鐵道部 押田傳
同機械科長を命ず
鐵道部工務課 白濱重久
同保線科長を命ず
鐵道部輸送課 池田來介
同改良科長を命ず
總局工務科 畑中梅吉
同建築科長を命ず
總局 白石半三郎
同電氣科長を命ず
吉林鐵路局 猪崎勇
同殖産科長を命ず
鐵嶺地方事務所 愛甲一
同農務科長を命ず
▲ハルビン鐵路局
チチハル鐵路局長 周培炳
同副局長を命ず
鐵路總局監察 郡新一郎
同總務處長を命ず
奉天鐵道事務所旅務課長 高澤公太郎
鐵路總局旅客課長 小池文雄
同運輸處長を命ず
水運局總務處長 中川四朗
同水運處長を命ず
奉天鐵道事務所車務課長 七田積
同工務處長を命ず
▲チチハル鐵路局
大連鐵道事務所長 古川達四郎
チチハル鐵路局長を命ず
元ハルビン鐵路局警務處長 饗青林
同副局長を命ず
四平街建設事務所 木村一惠
同經理處長を命ず
チチハル鐵路局農務科長 山内敏二
同産業處長を命ず
チチハル鐵路局殖産科長 陳章
同勤務を命ず
▲奉天鐵路局
大連鐵道事務所營業課長 九里正藏
奉天鐵路局總務處長を命ず
鐵道部經理課 田村道堅
同經理處長を命ず
鐵道部旅客課 金田詮藏
同運輸處長を命ず
鐵道部技師 高野與作
同鐵路局工務副處長を命ず
奉天鐵路局農務課長 平尾康雄
同産業副處長を命ず
▲吉林鐵路局
鐵路總局機務處長 秋田豐作
吉林鐵路局副局長を命ず
鐵道部 池原義見
同總務處副處長を命ず
總局豫算係主任 山田勇治
同經理處長を命ず
チチハル鐵路局勸業副處長 杉浦平八
同産業處長を命ず
▲鐵道事務所關係
ハルビン水運局長 下津春五郎
大連鐵道事務所長を命ず
奉天鐵路局運輸處長 關弘
大連鐵道事務所營業課長を命ず
北鮮鐵道管理局運輸課長 大橋正己
奉天鐵道事務所副所長兼庶務課長を命ず
奉天鐵路局經理處長 西村龜千代
吉林鐵路局副局長 西川總一郎
ハルビン鐵路局長 佐原憲次
ハルビン鐵路局運輸處長 森永不二夫
ハルビン鐵路局機務處長 田中孝平
ハルビン鐵路局工務處長 鈴木長明
チチハル鐵路局副局長 野中秀次
チチハル鐵路局經理處長
北鮮鐵道管理課長 濱口未喜
北鮮鐵道管理局副局長 谷淸
鐵路總局勤務を命ず（各通）
ハルビン鐵路局副局長 崔春
總局參贊を命ず
北鮮鐵道管理局副局長 小澤宣義
局管理局長を命ず
鐵道部第一輸送課 大西正弘
奉天鐵道事務所庶務課長を命ず
總局工務處工務科長 武井外一
ハルビン鐵路局工務處長を命ず
鐵道部次長 山口十助
鐵道部旅客課長宇佐美喬爾不在中事務取扱を命ず

◇……承認記念祝賀式

建川中將視察に來滿

【東京國通】建川美次中將は滿洲各地視察の爲十四日午後十一時東京驛發西下朝鮮經由渡滿の途に就いたが出發に先立ち左の如く語つた

滿洲各地を視察の上來月末には歸京する豫定だが浪人の事だからどう變更するか判らない、僕はもう豫備役だから直接軍事關係のことは視察せず主として産業經

小平關東軍經濟顧問
廿一日赴任

【東京國通】關東軍經濟顧問を囑託された農林省經濟更生局長小平權一氏は來る廿一日午前九時東京驛發列車で農林省北支視察團一行と共に赴任の途に就くことゝなつた

山口次長來京

滿鐵鐵道部次長山口十助氏は十四日午後七時四十五分着列車で來京一兩日滯在の豫定

十六日朝刊休刊

十五日は滿洲國承認記念日、翌十六日は新京神社秋季大祭に當りますので祝意を表し十六日朝刊は恒例により休刊致しますから御諒承下さい

新京日日新聞社

人事往來

▲木村武氏（滿洲國官吏）十四日來京大丸新館
▲田井信行氏（會社員）同
▲川上不比等氏（農場主）同
▲和旅館
▲小林重敬氏（官吏）同
▲川合常太郎氏（會社員）同
▲米原廣吉氏（請負業）同國華ホテル
▲西田敏男氏（鐵路局員）同
▲内藤藤助氏（會社員）同太陽ホテル
▲岡見正清氏（電業公司）同
▲荒木和夫氏（福昌公司）同
▲山東實氏（會社員）同
▲樋口光雄氏（吉林高等師範學校長）同滿蒙旅館
▲重富寛氏（官吏）同
▲島田豐氏（滿洲國官吏）同
▲牟田口英高氏（技師）同旭ホテル
▲中西達夫氏（官吏）同
▲實淵重人氏（會社員）同大丸新館
▲安藤又五郎氏（農業）同西村旅館
▲服部靖人氏（會社員）同
▲根本成一氏（吉林省公署）同
▲山根多平氏（總局員）同
▲池田繁次郎氏（滿鐵）同
▲木戸勝行氏（同）同
▲香取眞策氏（會社員）同新京ホテル
▲鈴木又藏氏（同）同
▲門間堅一氏（滿鐵）同
▲吉川康氏（請負業）同
▲乾三郎氏（材木商）同
▲松下全男氏（同）同
▲山口十助氏（滿鐵）同
▲二瓶三夫氏（同）同松屋旅館
▲遠藤嘉吉郎氏（商業）同
▲徳永政野氏（滿鐵）同扶桑旅館
▲由上勝男氏（新聞記者）同
▲淺海馨氏（畫家）同
▲馬淵重次郎氏（商業）同富士屋旅館
▲太田信次郎氏（代議士）同
▲寺本勝夫氏（官吏）同
▲野添武二氏（齒科醫）同
▲安西勇吉氏（官吏）同吉田屋旅館
▲平野龍助氏（僧侶）同
▲野村英二氏（教師）同新都
▲中村秀夫氏（會社員）同常盤旅館
▲阿部五郎氏（滿洲國官吏）
同京都旅館
▲上田定次郎氏（滿洲國官吏）同鐵嶺へ
▲木村繁吉氏（軍屬）同東京へ
▲宮崎繁雄氏（航空社員）同ハルビンへ
▲伊藤光義氏（同）同
▲松本正壽氏（陸軍少佐）同大連へ
▲大西博氏（滿鐵）同大賚へ
▲上野壽廣氏（商業）同ハルビンへ
▲鈴木關東軍經理部長 同奉天より
▲眞子重路氏（内外綿社員）同愛國ホテル
▲寺本熊一氏（陸軍大佐）同
▲栗原貞一氏（會社員）同
▲松本重造氏（同）同
▲矢内宗武氏（同）同
▲北爪正郎氏（專賣工廠員）同國際ホテル
▲三好章正氏（同）同
▲平貞藏氏（滿鐵囑託）同
▲栗原卯之助氏（金福鐵道取締役）同
▲折田新六氏（會社員）同三笠旅館
▲枡田善宗氏（滿鐵）同梅屋旅館
▲宮島嘉六氏（商業）同
▲長田利義氏（會社員）同大

團體

▲東京府聯合青年團五十名十五日午後三時二十七分ハルビンより
▲平壤崇仁商業學校生百名同午前七時大連より
▲神戸戰跡弔魂團十五名七時三十分奉天へ
▲朝鮮總督府警察官講習所生二十六名同午前七時二十分吉林へ、同午後七時十分著京
▲神戸商工會議所團十名同
▲富山縣皇軍慰問團二十名同午後三時十分吉林へ

その日く

□
この國を日本承認して滿四年、淸秋爽かに、市街は秋まつりの情景に溢る
□
躍進の事實が要求して、事實的承認はその後續いた、率先の創意はあやまたなかつた
□
富民の道を以てこの國の政を輔けよと實協總會に望む、觀光を超えよとの意
□
鐵路總局人事の編成替へ、賑はしく發表された、滑かに軌道を進んだが
□
國都にはじめての民族交驩の夕べ、それにつけても大ホールが欲しくなる

五穀豐穰を壽ぐ 新京神社本祭り

式後團体參拜の後を受け 餘興に全市ゆるぐ

待ちに待つた新京神社の本祭りは[illegible]十五日[illegible]明けた、午前八時より社殿において關東軍、駐滿海軍部、警察[illegible]東局、各國領事、市內各中小學校、在郷軍人、國防婦人會、各地方委員、氏子總代役員[illegible]のもとに[illegible]武田地方事務所長[illegible]

ひく、何れも晴れの賞品が[illegible]興されることゝて[illegible]

莊嚴

に執行された、[illegible]

同時に午前九時三十分からは神輿出御の[illegible]年初の御法度と言ふところから市民に迷惑を及ぼすことなく嚴肅な中にも晴間に擧る掛け聲も勇ましく午後一時南廣場の御旅所に至り、約一時間休憩、修祓、獻饌に次いで祝詞奏上、玉串奉奠、撤饌の御旅所祭を執行して晝食を攝り

再び日本橋通りから朝日通—永樂町—大和通—東一條通—祝町—中央通りと練り廻つて午後四時ごろ還御の儀式も滯りなく終了した、一方神輿の渡御につゞく祭禮の豪華版！各町內會が秘策を練つての假裝行列、服裝行列其他數々の出し物が祭禮氣分漂ふ往來を無上によろこばせ、之また町內會の出し物、造花を飾り、幔幕を張り廻らして華麗を競ふ山車數臺、これに續くはお江戸の名殘りもそのまゝにいなせな法被姿に黄の向ふ鉢卷も可愛い日本橋の子供御輿に樽御輿、負けてたまるかと後を追ふは西廣場の傑作、町內子供五百名を總動員し蜿蜒と紅白の手綱を曳く女子供の太鼓屋台に樽御輿だ、襟足美事な美妓連が撥く弦音も艶然と流れ行けば、それに和するはさやかな秋空搖がす潮騷の如き無邪氣な子供の

歡聲

だ、かくて國都のメーン・ストリートは目も綾な色と歡聲に渦巻きながら五穀豐穰を壽ぐ道行く人波も晴れ／＼と日暮れの巷に靜かに沈んで行つた

大連支部設置 保留となる

日滿實業協會第四回總會の開催を機會に十四日の理事會に於て大連側から大連市に關東州實業協會支部を設置し日滿支三國の產業貿易發展に資すべしと提案したが奉天、新京哈爾濱側は之に反對し結局保留となつた

評議員（順序不同）

菊本直次郎、原邦造、合名會社安田保善社總長安田善次郎、明治製糖株式會社社長相馬半治、日本郵船株式會社社長大谷登、東京海上火災保險會社取締役會長各務鎌吉、仁川商工會議所會頭吉田秀次郎、大連商工會議所會頭瓜谷長造、撫順實業協會會長中京祥光、吉林日本商工會議所會頭河瀨三喜作、錦縣商會會長劉達三、扶餘縣商會副會長張廷閣、哈爾濱道裡商會會長康煥章、京城商工會議所會頭朴[illegible]、株式會社三越京城支店長三輪[illegible]太郎、株式會社三井銀行取締役會長今井利喜三郎、京都商工會議所會頭竹上藤次郎、同上安藤榮藏、神戸商工會議所副會頭秋山斧助、同上復並充造、博多商工會議所副會頭松尾貞一、株式會社漢城銀行專務取締役伊賀誠一、大和染料株式會社社長首藤定、滿洲拓殖株式會社總裁坪上貞二、滿洲炭鑛株式會社理事長河本大作、滿洲鑛業開發株式會社理事長山西恒郎、新京商工會議所副會頭四戸友太郎、新京商工會議所副會頭寺內清次、益發銀行經理王子衡、益發銀行經理田芝年

植田大使祝辭

本日玆に日滿實業協會第四回總會の開催せらるるに方り所感の一端を述ぶるの機を得たるは余の欣幸とする所なり。惟ふに善隣滿洲國は建國以來當に五星霜を閲し、國礎日に鞏固を加へて庶政亦刷新整備し、他面既に日滿經濟共同委員會は設置せられて、彼我の經濟關係は漸次統制强化の域に進め、其の發達顯著なるものありと雖今や內外の情勢は逐年多事多難を極め、列强競つて各其の自給經濟の確立に寧日なく、爲に日滿經濟の一體不可分關係は愈々緊密の度を加ふるの要あるに至りたり本會は、此の間に處して、創立後日猶ほ淺きも滿洲國の經濟建設に協助し、日滿兩國の經濟提携を促進せしむると共に併せて相互共存共榮の實を擧げんが爲、會員並に關係者各位和衷協力して此の使命の遂行に努められたる結果、會勢は滿洲國の發展と共に益々躍進の一途を辿りつつあり。而して治外法權の一部撤廢及び附屬地行政權の調整に關する日滿官憲條約締結せられ、是れより正に滿洲國の統一ある產業政策が全面的に行はれんとするの秋に當り、玆に、滿洲國と新京に於て第四回總會を開催し會務の大策を議せんとするは、洵に時と所と其の宜しきを得たるものと謂ふべきなり。

會員並に關係者各位に於ては此の機會に於て愼重審議以て所期の目的達成に邁進せられんことを切望す。一言以て祝詞とす

昭和十一年九月十五日

滿洲國駐劄特命全權大使　植田謙吉

張總理祝辭

十五日開催の第四回日滿實業協會總會に於る張國務總理の祝辭左の如し

昔者孔子衛に適き其國光を觀て曰く、庶なる哉之を富まし之を教へんと、夫れ庶なるものは善政の由て養ふところ民にして其居に安んぜざれば則ち庶なる能はざるなり、其業を樂まざれば必ずや其患とする所を除いて而して民其居に安んじ、其利とする所を興して而して民其業を樂む、其患を除くは治安を保つに在り、其利を興すは產業を勸むるに在り、國家の政未だ之より善なるもの非ず、然り而して孔子之に加ふるに富を以てし更に加ふるに教を以てせんとする、其旨何ぞや、竊に惟ふに富民の道其政に出づるものは必ず公にして大故に天下の人其澤を被らざるなし、其民に出る者は必ず私にして小故に一関の市猶且其爭を遏むる能はず況んや四海の衆に於てをや聖人之を憂ひ富民の道必ず其政に出で而して公利を斯民に均ふせんと欲す、深慮と謂ふべきなり、我滿洲帝國王道を以て其國を立つる玆に已に五年盟邦日本帝國の仗義援助に賴り民患を除いて以て治安を保ち民利を興して以て產業を勸む、其既庶の績或は未だ衛國の美に及ばずと雖も然れ共之を富まし之を綏ふするを致ゆる豈一日も之を緩ふするを得んや、日滿實業協會は乃ち富民の道を以て我國政を輔くるものなり、其提案審議するところ皆一德一心の誠に出で其實施籌備するところ益々日滿不渝の關係を固ふし一として興國富民の要術に非ざるは無く、而して敎も亦之に寓す、余の其開會を喜びんぞ之を言辭に盡す事を得んや、敬て其萬一を陳る、斯の如しと云ふ

康德三年九月十五日

國務總理大臣　張景惠

松岡總裁祝辭

本日日滿實業協會第四回總會を開催せらる洵に慶賀に堪へざるなり

惟ふに今や滿洲國建國々礎愈鞏固に文化益發達し王道樂土の理想實現し延いて東洋和平の確保に進みつゝあるは是れ日滿兩國民が不可分精神の本義を深く刻銘し、不屈不撓、國運の進展に寄與せられたる結果に外ならずして洵に同慶に堪へず此の秋に當り、兩國實業界の權威者相謀り、日滿實業協會を組成し、以て兩國經濟の提携と發展とに盡瘁せらるゝは實に時宜に適したる企劃にして、既に第四回の會合に及び本協會の隆昌躍如たるに接するを得たるは欣懷に堪へざる所なり

希くは本協會關係各位其の使命の至大なるを自覺し一層奮勵、以て日滿兩國の爲貢獻せられんことを盛會に際し一言以て祝辭と訓す

南滿洲鐵道株式會社　總裁　松岡洋右

財界の權威一堂に 日滿實業協會總會

一瀉千里重要議案を議了

日滿兩國經濟上の諸問題を審議し兩國の發展に寄與するのみならず、人的の[illegible]化により愈よ日滿經濟ブロツクの緊密化を齎すものとして

期待

された日滿實業協會第四回定期總會は十五日午前九時から新京記念公會堂にて、內鮮滿の財界の有力代表者約二百名その外來賓として滿洲國、關東局、滿鐵、新聞關係等の代表者約百名出席して盛大に開催せられた、定刻石崎常務理事開會の挨拶を述べ植田全權大使、張國務總理、永野海軍大臣丁實業部大臣、松岡滿鐵總裁の祝辭あつて、尾藤常任幹事により有田外相、寺內對滿事務局總裁、小川商工大臣、南朝鮮總督、寺內陸軍大臣、頼母木遞信大臣、永田拓務大臣の祝電披露終つて直ちに安宅副會長を議長に推し議事に入り第一報告事項として事業報告及び收支決算報告あり次いで第二議案審議に移り提案十二件を

上程

したが、第八號大豆增產に關し滿洲國政府に建議の件（滿洲支部提出）及び第十二號滿洲國に中小商工業金融特殊機關の設置並に動產抵當制度實施方要望の件（滿洲支部提出）は問題重要なるため理事會一件に決定し、他は全部原案通り滿場一致可決して、こゝに總會は滯りなく終了し午餐のため休憩に入り出席者一同公會堂前にて記念撮影を行つたが、一方評議員會は總會終了後直ちに續會され左の新評議員を選任した、午後は一時五十分から講演會を開催、板垣關東軍參謀長、守屋大使館參事官、丁實業部大臣、孫財政部大臣の講演あり、午後六時半から中央飯店に於ける張國務總理、丁實業部大臣主催の晩餐會に臨むはず

明年の總會は 名古屋で

日滿實業協會第四回定期總會第一日の總會にて名古屋市からの緊急提議により昭和十二年三月陽春の候を期し名古屋市に豫算三百萬圓を以て開催される汎太平洋博覽會に際し實業協會臨時總會擧行の件が上程され滿場一致可決決定をみた、之に對し名古屋市代表上遠野孝氏より一場の謝辭があつた

滿鐵機構改革の聲に チチハルの商人陳情

用度科廢止は死活問題と

全滿鐵道一元化の改革に伴ひ全滿用度機構も一大變革されることゝなりチチハル鐵路局の用度科は最少規模に縮少して僅かに配給機關として殘るに過ぎないといふことが傳へられてゐるがそれではチチハル日滿商人の死活に關する重大問題なりとし同地商工會議所は緊急會議を開き會頭神村鶴雲氏の名をもつて關東軍交通監督部長田中信良氏宛請願書を提出一方チチハル商工會を代表して兼井鴻臣より別項の如き嘆願書を關東軍司令官に提出することゝなり峰村理事、田村議員は十五日右願書を携へて來京各方面に陳情をなした

嘆願

拜啓愈よ御多祥爲邦家慶賀に不堪候、陳者今回全滿鐵道機構改革の運用せらるべき規則に付ては吾人の豫測を許さずと雖も最近各方面よりの情報を綜合推理すればチチハル鐵路局の購買力は著しく減殺され爾來に於る購買額の半額に充ざる結果を招來するやに思惟され不安此の上も無之次第に候、現在チチハルに於る購買額は其の月に依り一定せざるも一ヶ月約十六、七萬圓、一ヶ年約二百萬圓を產するものにして假りに其の半額の購買を減ぜらるれば當地商工民は一百萬圓の販路を失ふ事に相成候

チチハル鐵路局指定商人七十餘店の大半は鐵路局購買の恩典に浴し生活の安定を保持し居るの次第にて、若し前述の如き實現を見んか閉店の止むなきに達するもの相當數に上る事は暗夜に火を睹るより瞭にして日滿當業者七十餘店は焦慮の極に達し居る狀態に有之候、チチハル在住の之等業者は國家の對策に順應し商工移民として率先第一線たる最北の地に進出し以て聊か乍らも國家に對し御奉公の誠を致すべく專心努力其の本分を全うする爲に北滿の僻地に於て惡戰苦鬪の結果漸く其の緒に就かんとする秋に當り突如吾等業者の唯一無二たる鐵路局購買力を激減せらるゝ事は直接其の恩惠に浴しつゝある吾等業者の死活問題たるのみならず、チチハル全市民に至大の影響を與へ社會上重大問題たるを免れずと被存候以上吾等業者は滿鐵機構改革の犧牲となるは日本帝國商工移民として渡滿し本分を全せんとする精神より考察に忍び難く且一朝有事の際軍需品現地調達を必要とせらるゝ點より見るも將又國是たる中小商業者擁護の大方針に悖りて徒らに財閥に利益を壟斷せしむ事の時代錯誤なきを保せず這は由々しき社會の重大問題と存ぜられ候に就ては實情を具申し閣下の御策鑑を垂れ給はり北滿僻地に寒暑と鬪ひ日夜孜孜として民族發展の爲に精勵しつゝある苦衷を御賢察の上吾等商工業者の衰滅を招くが如き現地購買を激減せしむる事無之樣御高配を相仰ぎたく玆にチチハル日滿商工會を代表し及嘆願候也

昭和十一年九月十四日

チチハル商工會代表　兼井鴻臣

植田軍司令官閣下

チチハル忠靈塔へ 遺骨移送さる

すべて三百八十七体

豫て工事中の齊々哈爾忠靈塔は此の程竣工したので新京忠靈塔に合祀されてゐる滿洲事變以來同地附近で戰死した皇軍將兵の分骨を納祀せられることゝなり十五日午前九時三十分新京發列車で四平街經由チチハルに向つた、此の朝新京忠靈塔に於て嚴かなる遷座祭が執行され三百八十七體の分骨は戰友に抱かれて沿道堵列の軍、在郷軍人、日滿各學校生徒兒童、各種團體の見送りをうけて新京驛に到着第二フオームにて新京聯合佛教團僧侶の讀經、關東軍板垣參謀長、今村參謀副長、小笠原警備司令官、東條憲兵隊司令官、鈴木駐滿海軍部參謀長、大島警務司長、金首都警察廳總監他日滿官民代表の燒香があり植田軍司令官からの花輪に飾られて四平街經由チチハルに向つて出發した

滿洲事變回顧（十三）

所長から小使まで 事務所に起臥（上）

滿鐵地方事務所庶務係長　稻葉賢一

十九日の午前零時十五分に長春駐劄步兵第三旅團司令部から電話で〃十八日午後十時三十分突如として北大營附近の支那兵が奉天文官屯間柳條溝附近の我滿鐵線を破壞し次で我が守備兵を襲擊した〃旨の情報が這入り楢岡所長から直ちに私と三重野地方係長に通牒があつたので午前二時旅團司令部に集り田代領事、武津警察署長其他各機關代表と共に重要會議を遂げ軍部出動後に於ける附屬地の警備は警察署を主とし在郷軍人其他機關と連絡をとることゝなりましたそこで午前五時所內に、各係長を召集時局に對する分擔事務を協議し次に各區長學校長を召集し善後處置を講ずることゝし一面范家屯派出所に對しては在住者の保護につき萬全を期するやう命じました、更に所內の分擔については

▽……………△

庶務（係長稻葉賢一）一、軍部並に關係ヶ所への一般的連絡、二、部隊宿營に關する總括的事務、三、軍隊慰問者に對する斡旋、四、軍隊發着に伴ふ各般の斡旋、五、市中警備に關する一般的援助事務、六、避難者救護の總括的事務、七、慰靈祭に關する一般的事務、八、臨時通譯及軍役夫等の斡旋、九、時局後援に關する事務、地方係（係長三重野勝）軍部並に關係ヶ所との一般的連絡、二、部隊宿營に關する總括的事務、三、市中警備に關する一般的援助事務、四、避難者救護に關する總括的事務、勸業係＝（係長渡邊奉綱）一避難者收容に關する總括的事務、二、避難者頻出に關する總括的事務、三、非常時に於ける野菜輸送の連絡、四、長春の產業調査、五、支那側徵稅狀況作製、六、一般經濟事情の調査及材料提供、土木係＝（係長本庄進）一軍用道路現場監督指導、二、飛行場現場監督指導、三、軍部用段建築の現場監督指導、四、トラック其他機械設備應急修理の指導、經理係＝（係長荻原準）（一、軍部用物件購入の斡旋、二、軍部用貸與品の出納整理事務、三、慰問品の受附發送に關する指導事務、四、事變費の出納に關する一般的事務、外係＝（主務者熊谷保）一涉外軍部用土地買收交涉事務、二、通譯、三、軍部との聯絡並に情報事務、社會係＝（主事澁谷彌五郎）一傷病軍人の看護を目的として成立せる滿鐵婦人會の指導、二、一般婦人會員の指導援助、三、避難者指導事務、四、慰靈祭に關する事務、

▽……………△

以上のやうな部署分擔を極め直ちに應急處置として新京地方事務所時局係といふものも設けました、これは軍部に對する各般に亘る事務聯絡各事項に述べた各分擔事務に關する諸件を悉く處理する一つの機關でありまして昭和六年十一月に到り新京時局後援會といふものに變更し事務所は矢張り地方事務所內に置き會長には楢岡茂氏、副會長地委議長勘崎仙英氏、區長代表島名福十郎氏らがあたられました各の部署が極まると直ちに次の如く活動に移りました

▽……………△

滿鐵臨時婦人會

十九日未明から駐劄步兵第四聯隊第二大隊及公主嶺獨立守備隊第一大隊の皇軍は南嶺を又步兵第三聯隊の主力は寬城子に各轉戰し戰死者六十名傷病者九十名を出す一方避難者が雪崩れ込んで來るといふ有樣でとても戰傷者の救護、避難者の救護炊出し等の手が廻り兼ねるので廿日早朝急遽滿鐵社員婦人をもつて婦人會を組織し衛戍病院並に滿鐵醫院と連絡をとり更に篤志婦人會修養團婦人會、白百合會等と協力して殺到する避難者を社員クラブ及公學校に收容するなど連日二十數名づつ獻身に交互炊出し任務に盡悴二十五日に到り時局が漸く小康を得たので解散したが其の間の婦人の働きは實に涙ぐましきものであつた

お台所へ

―十八日市場休み―

來る十八日は新京市場會社の定休日ですからお台所奉行の奥さん方は注意なさらぬと買ひそこなつて食膳異變を招來することになります

あす（十六日）

▲本社主催婦人南嶺見學、午前九時半、驛前集合
▲日滿實業協會總會第二日、午前九時より、公會堂
▲事變記念講演會、午後七時半より、西廣場小學校
▲戰跡訪問マラソン申込締切正午まで、地方事務所社會係へ
▲「アジアの先驅」上映、新京キネマ、豐樂劇場

◇…今晩の主なる演藝放送…◇

▲六・三〇講演「迎承認四周年」張燕卿
▲七・〇〇四族兒童音樂

天氣と氣溫

今日の天氣　北西の風晴一時曇
日の出　前　五時一八分
日の入　後　五時四八分
月の出　前　五時四四分
月の入　後　五時三二分
けふの氣溫　最高　二〇度　最低　一〇度七

あすの番組

十六日（水曜日）（M・T・C・Y新京放送局）

朝

六、〇〇 建國體操
六、二〇 ラヂオ體操（東京）
六、四〇 初等滿洲語講座（大連）講師 秩父固太郎
七、〇〇 初等日本語講座（奉天）講師 近藤喜助
七、二〇 氣象通報（大連）
引續き 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 早晨演奏（奉天）
九、二〇 料理獻立（大連）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 家庭講座（奉天）注射による種痘に就て 滿洲醫科大學教授 北野政次
一〇、二五 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）

晝

一〇、五九 時報（東京）
一一、四〇 ニュース（東京・新京）
〇、〇一 經濟市況（大連・新京）
〇、二〇 晝の演藝（レコード）
〇、四〇 建國體操
一、〇〇 白天演藝（大連）
一、二〇 ニュース（滿語）
一、三〇 宗教講座（奉天）奉天皇寺達喇嘛 喇嘛「黄敎喇嘛之歷史」隆且加卜
一、五〇 下午演奏（大連）
二、〇〇 經濟市況（大連）
引續き 日用品値段（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京・新京）
三、三〇 經濟市況（大連・新京）

夜

四、三〇 ニュース演藝（餅語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（大連）傳說 お星樣と大蛇 山田健二
五、二〇 コドモの新聞（大連）
五、二五 氣象通報・番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 今晚の番組・官廳公示
六、二五 政府公報（滿語）
六、三〇 蒙古事情案内 石川留子 近藤勝子 愛甲ヨシ子 松永住子
七、〇〇 常磐津 積戀雪關扉（關の扉）（下）淨るり 常磐津三春太夫 神原スイ 森田敏子
三味線 扇芳亭照蝶 常磐津〒房
七、一〇 ラヂオスケッチ 滿洲國建設史 滿洲帝國協和會原案 南若關脚色
新聞記者長谷川 五藤春夫
同 田 明石龍三
女 A 美月照子
同 村 B 瀧節子
說明 村井昌朗
アナウンサー 楠本寬
解說 東英次郎
琵琶 藤旭鵬
八、〇〇 落語（第一夜）（東京）目黒のさんま 東風亭柳橋
八、三〇 時報・ニュース（東京）
引續き ニュース・經濟市況
八、四五 ニュース・氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇 協和國劇社票友
九、三〇 斬竇娥 戲劇（大連）
一〇、〇〇 北滿の時間（哈爾濱）

待望の河合ダンス 前人氣旺ん！ 來る二十一日公會堂で開演

みのる秋の多彩な滿洲演藝界の白眉として一際目立つ河合ダンス一行の來演は各方面に異常なセンセーションを惹起しつゝあるが、愈よ來る二十一日より公會堂に於て全市民の灼熱的待望裡に堂々開演の幕を切つておとすことになつた、洗練された舞台、美はしの音華絢爛たる舞踊藝術、豪樂完璧の演出は必らず滿都ファンを魅了すべく素晴しい前人氣を煽り當日の大盛況を豫想せしめてゐる、一行の主なる演物は

△流線圓舞曲△ウインドミル、タップダンス△アパッシュダンス△エキスセンリツクダンス△ピアノアコーデオン演奏△ヴァイオリン獨奏（ピアノ伴奏）△シロホン演奏（ピアノ伴奏）△スパニッシュダンス△コサックダンス△アクロバット・ダンス△ボレロ△ジョウ・ダンス△月を待つ△萬華鏡△ジャズ△シャボン玉

等々であるが、血の滲み出るやうな基本練習によつて完成されたアクロバット・ダンスは松竹、寶塚といへども遠く及ばず批評家が齊しく筆を揃へて激賞するところであり、爆情的な、リズムに踊る『ボレロ』は異色ある演物として期待されてゐる、ピアノ、アコーデオン、ヴアイオリン、シロホン及びジャズ演奏は何れも舞姫自ら演奏するものであり其妙技は專門音樂家の技倆を遙に凌ぎ河合ダンス一座のみが天下に誇り得る呼物の一つである、因みに入場料は金二圓均一である

"永久の愛" あすからの長春座

長春座十六日よりの番組は左の如く「永遠の愛」前後篇の再映に「なめられた彼奴」を配した二番線短期週間である

▽松竹蒲田「永久の愛」蒲田さよなら映畫として城戸四郎の原案指揮により製作された映畫で齋藤良輔の脚本により池田義信が監督した作品、栗島すみ子、田中絹代、川崎弘子、他松竹オールスターキャストに諸口十九、鈴木傳明、高田稔等の特別出演を配した豪華版である、破産して了つた紙問屋の老舗藤村家を再興すべく、姉娘久子の健氣な奮闘を主軸として此の一家を繞る多くの人々と事件とが展開する、キャメラは濱村義康の擔當である、サウンド版

▽松竹蒲田「なめられた彼奴」山口勇と突貫小僧の主演する齋藤寅次郎のナンセンスもの、寅次郎一流の奇想天外なギャグが愉しめる

斷乎戰ふべし

▽△MGM映畫、「ベンガルの槍騎兵」「男子牽制」「僕の脱走記」のフランチョット・トーンと「男性NO・1」のジョセフ・カーレア、これにマッヂ・エヴァンス、スチュアート・アーウインの四人が主要な役割を演ずる映畫で、マーチン・ムニーの原作によりマイケル・フェッシアが脚色、ジョージ・B・サイツが監督に當つた作品である、横暴を極むるギャング團に對し一新聞記者と顧問辯護士とが死を賭して挑戰する迫力の一篇、キャメラはレスター・ホワイトが擔當する、帝都キネマ十七日封切、寫眞は右よりフランチョット・トーン、スチュアート・アーウイン、マッヂ・エヴァンス、ジョセフ・カーレアの面々

雑音

「マヅルカ」の後をうけて長春座は「永久の愛」の一の旬期興行である、祭りと記念日の煽りをやゝ牽制して十八日から「モスコーの一夜」と「四十八人目」を掲げる策戰である▼帝都キネマも「エルンスト・ルビッチ大會」とも言ふべき「私の殺した男」と「陽氣な中尉さん」の併映この後をうけて「テムプルの愛國者」と「斷乎戰ふべし」がゆくらしい、洋畫の再映と邦畫の再映の對照に、夫々の館の特色を發揮してゐて妙味がある▼帝都は十月の洋畫プロに更にジュリアン・デュヴィヴィエの「地の果をゆく」を一本加へた「ロビンフッド」「隊長ブリーバ」「幽靈西へ行く」を加へて都合四本の大作強力陣である、洋畫ファンには「絶對の月」である▼豐樂新京キネマには「コスモポリス」「艦隊を追つて」等あるが例によつて聊か多彩味を缺く、いゝプロを組まないと豐樂の方が駄目になつて了ふとは言ふものゝいゝプロを組むと新京キネマの方が駄目になつて了ふし、此の所御本家御心痛の態である

仙人掌

カナシイお話、先達つて、新京會館の福田さんが、泣きながら踊つてゐたです、マミーさんに訊ねてみると「多分、お客さんにムリ云はれたんでせう」と答へました、暫くすると、マミーさんが涙をながし出したデス。「ムリ云はれたの」と訊ねて見ると「歯が痛いのよ」と答へました、なる程、椅子の上に子供の喰べるアメがありました、福田さんの泣いてゐた理由は不明、詳しくは本人に訊ねて下さい▼扇芳亭の江川さん、椅子に座りながら、シクシク泣いて居りました、訊ねて見ると、「子供が死んだの」と答へる「君結婚して居たの」と云ふと「伏見に居る姉さんの子供よ」と云ひました、「そう氣の毒だね、でも、また產めばいゝぢやないか」となぐさめてやると「手紙を出して置かう」と破顔一笑、元氣が回復したです、ツ、シンでアイ悼の意を表す、▼新京會館の小林光子さん、二貫目の增へたのは有名だが、毎日怱忙裡に日を暮して居るので「ヤセましたかね」と訊ねて見ると、「ダメよ。戀人でも出來なければ…」とお仰言る、誰か、彼女をヤセさせる男性がゐませんか

「小間使日記」に犬の豪華メンバー特別出演

新興大泉伊奈精一監督の新作「小間使日記」は、お邸の小間使と犬ボーイの青年とのロマンスに絡んで、犬が重要な一役を占めて居り、これに使用する犬を武藏野沿線保谷の使役獨逸犬訓練所から借りることゝなつた、この特別出演の犬は三匹で、シュナウツアといふ何れも時價三千圓以上もする豪華犬で、優秀な代りにいづれ劣らぬ獰猛な猛者揃ひ、伊奈監督はじめ古川登美、植村謙二郎其他出演スタア全部が慣れるため撮影の合間を見ては、犬の學校通ひをして訓練見學に努めてゐるがこの撮影には、慣れない者三間以内近寄るべからず、ライトのあて方注意等々大へんな手數で、今からスタヂオマン恐慌を呈してゐる

入江、東寶提携 第一回作 「或る人妻の手記」

日活との提携最後の作品『栗山大膳』に出演することになつてゐる入江たか子は、その後東寶と提携PCL撮影所で第一回作品を製作する豫定であるが、その第一回作品の監督は成瀨巳喜男が擔當と決定氏自身のオリヂナル物『或る人妻の手記』（假題）を製作する、内容は雄々しく生活戰線に立つ新女性の姿を描いたもので入江、成瀨のコンビは期待されてゐる

九星

九月十六日 水曜 舊八月一日 辛丑 友引 定 角宿

●一白の人 計畫せし甲斐も無く物事運滯勝となるべし 庚と辛と壬が吉
●二黒の人 避くべき木蔭も無き野中にて雨に遇ふ如し 丙と申と癸が吉
●三碧の人 衰運甚しく意外の失敗あり諸事進むは不利 乙と巳と庚が吉
●四緑の人 知友の親交を謀り口舌爭論を避けらるべし 巽と巳と辛が吉
●五黄の人 利慾を捨て本業大切と守靜すべき日病注意 甲と壬と癸が吉
●六白の人 寸時も怠らず目的とする所に邁進するが吉 巳と丙と未が吉
●七赤の人 横路に外るゝ事なく徐に直進せば吉慶あり 丙と未と壬が吉
●八白の人 死線を超えて蘇生の思ひある日溫健を尙ぶ 未と申と癸が吉
●九紫の人 盛運にて企業開店至極宜しく前途光明あり 甲と庚と丑が吉

新京の中心地移行し 新繁華街出現へ
豫想される頭道溝埋立地の將來

國都新京の繁華街は、後來、吉野町を中心としてゐたが、國都建設局の第一期五ヶ年計畫が本年を以て終りを告げ更に第二期五ヶ年計畫案企てられるや、大同廣場を中心とし、宏大なる地區を有する大新京の出現が豫定さるるに至り勢ひ心臟部繁華街は、國都の進展に伴ひ吉野町一帶よりダイヤ街一圓に漸次移行するものと觀られる、如上の推斷よりしてダイヤ街勝簽の頭道溝埋立工事は新京市民の注目の的であり、之が管理者たる滿鐵地方事務所多年の宿望であつたが先般諸般の手續完了し、埋立工事の入札も終へ目下市瀨工務所、今井組の手で工事進捗中であり大體今年中に完成するものと觀られ、申込者受付も既に定數に達したので、來春より續々工事開始せられ遲くとも兩三年中には全工事終了の豫定であるから完成の曉にはダイヤ街に並立して大繁華街が現出するわけである

車の往來に活氣を漲らしたのであつた

申込者總數は二〇〇件に及んでゐるがその主なるものを列擧すれば次の如くである

一、大日本麥酒會社（出張所）
一、商工會議所（移轉新築）
一、日滿觀光株式會社（中に大阪商船出張所、鐘紡サービスステーション）
一、滿洲技術協會支部
一、同盟通信社（小野繁夫）
一、泰信無盡會社（事務所）
一、奉天酸素株式會社（出張所）
一、共同木材會社（事務所）
一、長春座（貸店舗）
一、榊谷組（同）
一、福昌公司（同）
一、あけぼの（料理屋）
一、梅園支店（喫茶店）
一、すみれ分店（料理屋）
一、岩間商會（貴金屬商）
一、西山運動具店
一、シナノ洋行（淺井庄一郎）
一、勝本商會（煖房）
一、寶山洋行（貸店舗）
一、哈爾濱ビール會社（出張所）

滿洲曹達 埋立工事申請

滿洲曹達股份有限公司では過般株主總會後愈よ第一期埋立工事に着手することになり去る二十五日これが許可方を關東州廳に向け申請を行つた、第一期埋立工事は甘井子滿化に北接せる海面約四萬二千坪で認可あり次第埋立を開始する、約四五ヶ月を要するものと見られてゐるから建築着工は明年五、六月頃となる豫定であると尚同社第二期第三期の計畫は約十萬坪の埋立を完了せんとするものである

豐田自動車 同和に依り販賣

豐田の大衆車製作が市場に出ることゝなつた當初滿洲方面の販賣に就いては、同社が同和自動車工業株式會社に加入するものゝ如く傳へられて居たが豐田の同和加入は實現を見ざるもトヨダは同和の手に依つて販賣されることゝなつた、なほ同和は從來の新京、公主嶺、ハルビン、チ、ハルの各支店の他に近く牡丹江に出張所を新設して販賣とサービスの擴充を圖ることゝなつて居る

滿洲國産業の現狀を語る（一）
—日滿ブロツクの一因素—

（本篇は今回新京に於て日滿實業協會總會が開催されたのに際し實業部次長高橋康順氏によつて述べられたものである）

治外法權の一部撤廢及附屬地行政權の調整に依り日滿兩國の經濟的聯關日に其の緊密度を增しつゝある今日、日滿兩國經濟界の多數有力者各位が國都新京に會せられて、日滿實業協會の總會を催されることは誠に意義深いものがあると考へます。玆に建國以來我滿洲國産業開發に當り多大の御援助を賜りましたる各位に深甚なる感謝の意を表しますと共に、此の機會に於きまして我國産業の狀態に付て其の概略を申上げ、今後尚各位の一層の御協力を希望したいと思ひます。◇

最近に於ける世界經濟界の情勢を見るに、最も顯著なる傾向は各國悉く資本主義經濟機構に基抵を置きつゝ自國産業保護の爲に相競うて關税障壁を設け完全に自由貿易を廢し保護貿易主義に轉ずるに至つたことであります。更に今一つの傾のは上述の保護貿易主義を自國のみに限定せず、即ち自己の經濟勢力圈にも之を及ぼしで資源と市場の獲得を確保する爲に所謂經濟ブロックを形成したことであります。而して各國が經濟ブロックを形成して相互に對立抗爭して行かうとすれば、如何なる國家と雖も其の經濟機構に對して嘗て自由放任主義を採りたると同じ意味に於て對內對外的に經濟統制を加へざるを得ないのであります。

斯の如き世界經濟の狀勢下に日滿經濟ブロックの一因素として各世界經濟ブロックに對立的運命を以て現出したる我滿洲國に於ては，自から封建的經濟段階を脫却して經濟の發展期に存するが故に尚一層經濟統制の必要性が認められるのであります。即ち我經濟力は現在弱少なるが故に內部的には速に日本との關聯に於て一定の經濟建設要綱を確立し計畫的に自國の經濟力の正常な發展を期し、而して友邦日本と不可分關係を有する獨立國家として發展し以て先進諸國の經濟力に追付き追越と同時に、外部的には日滿經濟統制の意味に於て其の經濟力を發展強化し友邦と共に對世界的な經濟力を擴充強化す可き運命を負ひ使命を有するものであります。

安圖、和龍兩縣界の 紅松樹海伐採
—本年中に四十七萬石—

安圖、和龍兩縣界に跨がる千古斧鉞を容れぬ原始林は枝下七、八十尺、直徑三尺から三尺五寸の美材が大樹海をなし其の多くを占める紅松は全滿第一位の良質との折紙つきで是を檢分した業者の齊しく唾涎措かざるところとなり去る三十一日新京實業部林務司廳に於て競爭入札の結果、親和木材（十萬石）間島林榮（五萬石）石光、丸山洋行（各五萬石）岩村組九萬石、祥泰洋行三萬石、延吉林務省署直營十萬石、今年中の採材總量は安圖縣古洞河流域を中心として四十七萬石といふことに決定、親和專務取締役石原新造同常務取締役鷹田政一郎、岩村林業部山內一朗同金秉昇、石光洋行龍井出張所主任吉本豐治、間島林業社長李容碩、丸山洋行主丸山筆助の諸氏ほか各關係者は龍井に參集して打合せ中のところ愈よ入山の準備成り、總員二千五百乃至三千名にも達する見込みの人夫（滿人七、鮮人四位の割）が十日から續々所定地に進發を開始したが、右官行伐採請負者も十一日愈よ入山此の原始大森林に斧鉞を容れることとなつたなほ木材の伐出しは來年八、九月ごろとなるべくその曉は龍井に『木都』の氣分を横溢せしめるものと期待されてゐるが、今回人夫入山の需要品、食糧、諸道具の購入に當り龍井に落した金額は約三萬圓といはれ、御商軒をつらねる本町筋は連日牛馬

躍進途上の白城子 都市計畫成る
蒙古原野に近代都市出現

躍進の白城子に一段と輝かしき拍車を掛けた白城子都市計畫案は約六十萬圓三ヶ年繼續事業として中央よりの認可を得洮安縣當局では着々之が施行準備をなすに忙殺されてゐたが、愈々本年度第一期支出金十八萬圓に對する工事施行の立案を了したので之が地鎭祭鍬入れ式が十日午後三時日滿官民代表者五十餘名參列の上華々しく擧行された、張縣長及古田參事官の手に振り上げられた鍬とショベルは蒙古の夕陽に映へて榮ある鍬入れ式が行はれ式後野呑祝宴を催したが白城子は此れを境に幾世紀か後に取殘された蒙古の原野に近代的態樣を整へた大都市建設へ將にジャンプぜんと張切れるやうな躍動を開始した

新京卸賣物價指數 空前の昂騰
▽……八月中の概況

中銀調査による八月中の新京卸賣物價指數概況は左の如くである、四月來の騰勢は前月に至つて急進、遂に指數創始以來の最高位に到達した後を承け八月中新京卸賣物價指數は上旬一〇八・六、中旬一〇八、七下旬一〇九・三と推移し、月中平均に於ては一〇八・八となり對前月更に〇・四%の微騰となつた、之を前年八月に比すれば實に五七%の高位を示してゐる、總品目六十三品中前月に對し騰貴廿三品低落十八品、保合廿二品

類別	八月指數	前月比%	前年同月比%
總平均	一〇八・八	(十)〇・四	(十)五・七

今類別指數による諸商品の動靜を示ぜば左の如し（大同二年平均を一〇〇とす）

類別	八月指數	前月比%	前年同月比%
特産	二〇八・六	(一)〇・四	(十)一四・九
雜穀	一三二・五	(十)〇・九	(十)三六・〇
食料及嗜好品	一〇四・一	(十)二・四	(一)〇・一
紡織物	九二・一	(十)〇・四	(十)五・七
金物	八九・五	(一)一・九	(一)二・五
建築材料	八九・四	(一)二・〇	(一)六・八
燈火及燃料	九五・八	(十)〇・八	(十)四・〇
雜品	九四・七	(十)一・六	(十)〇・三

即ち前月に比し食料嗜好品二・四%、雜品一・六%、雜穀〇・九%、紡織品〇・四%を騰げたに對し金物一・九%、建築材料二・〇%、特産〇・四%を下た、食料嗜好品の快復は近來に於る原料用農産物の昂騰に基く當然の結果で、麥粉味噌、燒酎等軒並强調を呈し前月に引續く金物及建築材料二類の低迷は熾烈なる販賣競爭によるところ多いが、根本的には土建界の澁滯化を裏書きするものと見られる、久しく獨歩高に推移した農産物、（特産雜穀）は何れも月初反落を演じたが月中平均に於ては前月と大差はない

土建ニュース

決定工事 ●營繕需品局
▲安東省立林科高級學校補修工事
一回 五、〇〇〇、〇〇 久保工務所
二回 五、一五〇、〇〇 水間組
五、二九五、〇〇 鈴木組
五、三五〇、〇〇 久保工務所
五、六五〇、〇〇 水間組
五、八五〇、〇〇 鈴木組
▲營繕需品局印刷工場增設電氣工事
豫超に付き決定を見ず
三、八五〇、〇〇 京津電氣
▲稅關奉天監視犬育成所宿舍新設電氣追加工事
三三五、〇〇 大連電氣
●新京地方事務所
▲新京北安通り一部碎石車道築造工事
落札 八百八十七圓八十八錢 昭和工務所
一、〇二四、七二 畠山組
一、三五〇、〇〇 井上組
▲新京共同墓地周圍木柵及門假工事
落札 五百七十圓 柿崎組
五七〇、〇〇 倘厚溫
八五〇、〇〇 井上組
●新京保線區
▲新京驛構內旅客地下道修繕工事
單獨 一千一百十五圓十錢 日本鋪道
●國都建設局
▲公主嶺驛配電所外一ヶ所柵垣新設其他の工事
四三〇、〇〇 井上組
五〇〇、〇〇 榊谷組
右豫算超加に付き決定せず
▲牡丹公園事務部附屬倉庫新築工事
單獨 三百六十五圓 大髙組
●市公署
▲市立西安橋小學校々庭修理工事
落札 三百五十二圓 德泰公司
三五九、〇〇 慶達公司
解退 東盛公司
▲永康莊地階々段模樣替其他工事
落札 五百九十五圓 大高組
●林業公司
▲〇〇線構內附屬建物築造工事
▲〇〇線構內附屬建物築造工事
四一、八〇〇、〇〇 竹中組
四三、〇〇〇、〇〇 島川組
四五、〇〇〇、〇〇 京城阿川組
●營繕品局
▲新京中央觀象台新營追加工事
二五、六〇一、〇〇 東亞土木
二七、三〇〇、〇〇 大信洋行
三八、八〇〇、〇〇 竹中組
豫告工事
▲國務院廳舍自動車庫電氣設備工事
開札 九月十六日
●新京地方事務所
▲新京醫院小屋組替工事
開札 九月十六日
●國都建設局
▲順天公園公衆便所新設工事
開札 九月十五日
●大連鐵道事務所
決定工事
▲大連檢車區電氣檢查所蓄電池充放電設備增改築工事
落札 四百九十圓也 野口電氣
五〇〇、〇〇 滿洲電氣
五三〇、〇〇 三興洋行
▲甘井子滿化會社專用線一部移設其他工事
落札 三千百五十圓 尚厚溫
三、二五〇、〇〇 鈴木組
三、四〇〇、〇〇 多田工務所
三、四三五、〇〇 三田組
▲中央試驗所沙河口研究所無線實驗室電氣設備新設工事
落札 一千八百八十六圓 三興洋行
一、八九五、〇〇 泰成工業
二、一三〇、〇〇 共榮商會
●大連工事々務所
▲試沙研金屬材料購入試驗室增築煖房工事
落札 一千二百七十八圓 辻商會
一、六二〇、〇〇 田中勝商會
一、六七〇、〇〇 高石商會
●關東州廳
▲關東州水產試驗場官舍新築工事
示談決定 九千九百五十圓 星野組

●奉天鐵道事務所
▲泉頭十家堡間白塔河水外一ヶ所橋梁上々線側橋台補強工事
落札 第一回 八百九十圓也 日本工業
第一回　第二回
九五〇、〇〇　八九〇、〇〇 日本工業
九五〇、〇〇　九三〇、〇〇 福井組
九四〇、〇〇　九二〇、〇〇 草場組
一、〇四五、〇〇　九一〇、〇〇 葛井組
一、三〇〇、〇〇　九七〇、〇〇 松本組
▲新京驛構內各車消毒有効モルロル管理設工事
示談 千五百二十八圓九十錢 森本組
一、六六〇、〇〇 森本組
一、八〇〇、〇〇 福高組
一、八三〇、〇〇 新京河川組
一、八五〇、〇〇 大同公司
一、八八〇、〇〇 三田組
▲張家堡鳳凰城間切工及盛土方面其他復舊工事
單獨 七千百九十六圓四十六錢也 三田組
●奉天地方事務所
▲奉天橋立町七四一外戶外其他修繕工事
示談 千百五十五圓 鍋島組
一、三三〇、〇〇 鍋島組
一、六二〇、〇〇 新京阿川組
二、六九〇、〇〇 柿崎組
▲奉大宮島町九八一外三戶下駄箱修繕工事
落札 五百七十九圓六十錢也 油井組
六二一、八〇 石井工務所
四七七、六〇 畑工務所
決定工事 ●錦州工務段
▲奉山線女兒阿保線工區建物補修工事
落札 千百二十五圓也 東生公司
一、一五〇、〇〇 吾郎公司
一、三五〇、〇〇 東興公司
▲錦縣檢車段機械職場煉瓦塀補强工作工事
單獨 三百六十四圓也 日滿土木
▲奉山線羊圈子及石山站構內水害復舊工事
單獨 四百八十五圓也 河村組
▲奉山線双洋店構內二二四K三〇〇附近排水設備修繕工事
落札 一千二百七十五圓 河村組
一、三三五、〇〇 同生公司
▲錦承線七里河子間二九M附近側構切擴工事
落札 七百八十五圓也 同生公司
八三〇、〇〇 共和組
八九〇、〇〇 河村組
▲錦州站局舍間道路砂利敷工事
落札 一千八百五十七圓七十九錢 萩澤組

工藝の民衆化といふ事が唱へられてゐる、現代に於いては如何に精巧を極めた模範的なものであつても古物その儘を寫しただけでは實用價値に於いて工藝品たるの資格を缺くことになる▲模範たるべきものの換骨脫體式は新しい時代が要求する工藝品を作り出すやうにしたい、この心持は專門家のみでなく日常工藝品に親んでそれによつて趣味と滿足とを得やうとする一般に在つても持たるべきものとされてゐる▲工藝品必ずしも高價のものではない、いかなる階級にも工藝趣味は必要だ、これらの標語が現在この國でも再び採用されていいであらう—「くろずめる內房の四圍眺めやる」

商況欄（九月十五日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊 一九片一六分七
同 先限 一九片一六分七
紐育銀塊 四四仙四分三
孟買銀塊 六八留比八分三
米英爲替 五弗〇六仙一六分三
米日爲替 二九弗六二五仙
米支爲替 三〇弗二五仙
スチール株 七〇弗四分三
アナコンダ 三九弗四分一
英日爲替 一志二片一六分一
英支爲替 一志二片三二分三
印日爲替 七七留比二分一

▲米棉
現物 一二仙四五
十月限 一二仙〇四
十二月限 一二仙〇六
一月限 一二仙〇五
三月限 一二仙〇一
五月限 一二仙〇一
七月限 一一仙九一

▲印棉
ブローチ 二三一留比
オームラ 一九二留比
ペンゴール 一五七留比

▲市俄古小麥
九月限 一弗一二仙八分七

▲カルカッタ麻袋
十二月限 一弗一二仙八分五
五月限 一弗一〇仙八分五
青筋 二二留比一六分一
鐵筋 一九留比四分三

金銀市況

●上海標金 昨引 一二三、四〇 本寄 一二三、七〇
●大連金鈔票 寄付 九九、〇〇 現物 [illegible]
九月廿八日限 十月十三日限
寄付 九九、八五
出來高 二萬
步 出來不申

●大連鈔票銀大洋 現物 [illegible]
引 高 安 出來高 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替 日本向 第一回賣買 一〇三、二〇 第二回賣買 一〇三、二五
▲大連爲替 ▲倫敦向 第一回賣買 一志二片一六分五 ▲紐育向 第一回賣買 三〇弗一六分一 ▲上海向 ▲煙台向
▲阪神日米爲替 日塵 [illegible]
▲阪神日英爲替 第一回賣買 二九弗八分二分一 第一回賣買 三〇弗三分六分一

各地株式市況

▲東京株式（短期） 東新 鐘新 満鐵 寄付 [illegible] 引 [illegible]
▲大阪株式（短期） 大新 寄 [illegible] 引 [illegible]
▲大連株式（短期） 大新 鐘新 東新 日產 日魯 寄 [illegible] 引 [illegible]

各地商品市況

五品 豆新 錢鈔 東新 滿鐵 二新 日產 鐘新 [illegible]
▲大阪棉糸 九月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 寄付 [illegible] 大引 [illegible]
▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]
▲大阪人絹 當限 先限 [illegible]

各地特產市況

●大連大豆 寄付 大引 袋入 九月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限 三等現物 [illegible]
●同 豆粕 [illegible]
●同 豆油 現物 九月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限 [illegible]
●同 高粱 現物 八月限 九月限 十月限 十一月限 十二月限 [illegible]
●哈爾濱大豆 九月限 十月限 十一月限 出來高 一四〇車
●同 小麥 九月限 十月限 十一月限 出來高 五五車

新京區公示第二十號
新京警察署長ヨリ左記日割ニヨリ秋期種痘施行方ニ關シ告示アリタルニ付保護者及義務者ハ期日中ニ受痘セラレタシ
昭和十一年九月十五日
南滿洲鐵道株式會社 新京地方事務所長 武田胤雄
記
種痘及檢痘日割

種痘月日	時間	檢痘月日	時間	場所
九月廿四日	午後一時	九月廿九日	午後一時	白菊會館
九月廿五日	午前九時 午後三時	九月三十日	同	衛生館
九月廿六日	同	十月一日	同	同